

愛知東邦大学 シラバス

開講年度 (Year)	2024年度	開講期 (Semester)	後期
授業科目名 (Course name)	総合演習 II		
担当者 (Instructors)	吉村 道孝	配当年次 (Dividend year)	2
単位数 (Credits)	2	必修・選択 (Required / selection)	必修

■ 授業の目的と概要 (Course purpose/outline)	
総合演習I・IIを通じて、学術調査の基礎的なスキルや、論理的展開について学習することを目的とする。また、調べた成果をまとめ、プレゼンテーションおこない、他者に効果的に伝達することを学習する。	

■ 授業形態・授業の方法 (Class form)	
授業形態 (Class form)	演習
授業の方法 (Class method)	演習形式でおこなう。おもにグループを作成し、グループごとに作業当をおこなう。そのため、主体的に貢献する姿勢を求める。

■ 各回のテーマとその内容 (Each theme and its contents)			
回数 (Num)	テーマ (Theme)	内容 (Contents)	メディア区分 (Media)
第1回	進捗確認	長期休みの過ごし方と今後の展開について確認する。	<input type="checkbox"/>
第2回	「健康実践演習」の準備1	講義の内容を決め、進行を決める。	<input type="checkbox"/>
第3回	「健康実践演習」の準備2	講義で使用する資料の作成。	<input type="checkbox"/>
第4回	「健康実践演習」の準備3	講義での役割分担や資料を作成する。	<input type="checkbox"/>
第5回	「健康実践演習」のリハーサル	「健康実践演習」の実施に向けて最終調整をおこなう。	<input type="checkbox"/>
第6回	「健康実践演習」の指導1	1年生のクラスに自分たちが調べた内容について講義する。	<input type="checkbox"/>
第7回	「健康実践演習」の指導2	1年生のクラスに自分たちが調べた内容について講義する。	<input type="checkbox"/>
第8回	「健康実践演習」の指導3	1年生のクラスに自分たちが調べた内容について講義する。	<input type="checkbox"/>
第9回	「健康実践演習」の振り返り	1年生の「健康実践演習」の振り返りをおこなう。	<input type="checkbox"/>
第10回	ディスカッションの準備	グループを作り、テーマ設定をおこなう。	<input type="checkbox"/>
第11回	ディスカッション2	グループにわかれて、ディスカッションをおこなう。	<input type="checkbox"/>
第12回	ディスカッション3	グループにわかれて、ディスカッションをおこなう。	<input type="checkbox"/>
第13回	司法における心理支援について調査する	犯罪の加害者・被害者の支援について調査する。	<input type="checkbox"/>
第14回	司法における心理支援について発表する	実際の裁判記録等を調査して心理支援について学習する。	<input type="checkbox"/>
第15回	まとめと質疑応答&専門演習の説明	総合演習のまとめ	<input type="checkbox"/>

■ 授業時間外学習 (予習・復習) の内容 (Preparation/review details)	
事前学習：グループで設定したテーマに関する情報収集をおこなう。また関連する領域の最新研究についても常にアップデートをおこなう (2時間)。事後学習：演習で学んだ点や、指摘された点について自分で考え、さらに情報収集を進める。(2時間)。	

■ 課題とフィードバックの方法 (Assignments/feedback)	
個人やグループの進捗やテーマに応じて、課題やタスクが毎回設定され、その振り返りをおこなう。プレゼンテーションや論文は適宜添削をおこない返却する。	

■ 授業の到達目標と評価基準 (Course goals)		
区分 (Division)	DP区分 (DP division)	内容 (DP contents)

知識・技能	◇ 2019全学共通DP1	物事の多面的な見方や、データを扱う上での数値処理方法を理解することができる。特にコンピューターを用いて基本的なデータの前処理方法、解析方法、それらのプレゼン技法を習得することができる。
思考力・判断力・表現力	◇ 2019全学共通DP2	研究や調査をプロジェクトとし、計画の立案からデータ収集、データ処理、プレゼンテーション（アウトプット）までの一連のアカデミックスキルの流れが理解でき、自身で実行することができる。
主体性	◆ 2019全学共通DP3	グループのマネジメント、プロジェクトのマネジメントなど主体的取り組みが、結果を左右することが理解できる。また外部評価を通じて自身のマネジメント能力を客観的に知ることができる。

■成績評価(Evaluation method)				
筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			60%	40%
授業内試験等(具体的内容)(Specific contents) 演習科目であるので、グループワーク・ペアワークなどの取り組む姿勢を「その他」として評価とする。また、毎回振り返りや小レポートをおこない、理解力や達成度を「授業内試験」として評価する。				

■テキスト(Textbooks)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	授業内容に応じて資料を配付する。	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	授業内で適宜紹介する。	
2		
3		
4		
5		